

閉会挨拶

岩尾總一郎

環境省 環境保健部長

第4回内分泌攪乱化学物質問題に関する国際シンポジウムの閉会にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

まず、初めに、本シンポジウムにおいて御講演いただきました専門家の方々には、海外からはるばるお越しいただき、あるいはご多忙の中、国内各地からご出席いただき、最新の知見を披露いただきました。厚く御礼申し上げます。

またそれと同時に、3日間に渡り、大勢の皆様方に各テーマの討議に熱心に御参加いただきました。お陰様を持ちまして盛大かつ多くの成果を上げ、本シンポジウムを終えさせていただくことができたものと、心から感謝申し上げます。

多様で、複雑な内分泌攪乱物質問題をときほぐしていくには、まだまだ科学的知見が不足しており、幅広い研究分野の方々の積極的な参加と協力が不可欠であります。4回目を迎えた本シンポジウムの議論を通じて、内分泌攪乱物質問題に関する研究の進展に確かな足取りを感じる次第です。

この間、大変ご苦勞をいただきました同時通訳の皆様、開催準備にあられた皆様に御礼申し上げますとともに、茨城県、つくば市を初めとする関係の皆様方のご協力に感謝を申し上げます。

今年1月6日に、中央省庁の再編により、環境省が発足いたしました。申すまでもなく、国民の安心と安全の確保は、新しい環境省の重要な使命であります。今後とも、内分泌攪乱化学物質問題を始めとする化学物質対策に、一層積極的な取組をしてみたいと考えております。最後に今後とも本問題に対する、皆様方の一層の御理解と御支援をお願いして、閉会の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。